



喜界町 デジタル化推進計画 2.0

デジタルで
結ぶ、支える、育てる
喜界町の未来

鹿児島県喜界町

令和8年8月策定

01 喜界町デジタル化推進計画について

P.3

1. デジタル化推進計画策定の目的
2. 計画の役割と位置づけ
3. 計画の期間

02 喜界町を取り巻くデジタル化の状況

P.7

1. 喜界町の状況
2. 社会的な動向

03 喜界町デジタル化推進計画の基本理念

P.11

1. 基本理念
2. 基本方針
 1. 行政DX
 2. 手続・窓口のDX
 3. 暮らしのDX
 4. 地域産業のDX

04 施策の詳細

P.14

1. 施策体系
2. 個別の施策
 1. 行政DX
 2. 手続・窓口のDX
 3. 暮らしのDX
 4. 地域産業のDX

05 推進体制

P.32

1. 取組の推進体制

P.34 付録

用語集

01

喜界町デジタル化推進計画について

1. デジタル化推進計画策定の目的
2. 計画の役割と位置づけ
3. 計画の期間

1-1. デジタル化推進計画策定の目的



人口減少・少子高齢化による担い手不足や行政需要の変化が続く中、AIをはじめとするデジタル技術は急速な進歩を遂げ、社会全体の変革を加速させています。また、新型コロナウイルス感染症への対応を通じて、行政分野におけるデジタル化の遅れが改めて浮き彫りとなり、自治体のDX推進は喫緊の課題となっています。

本町においては、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足に加え、本土から約380kmという離島特有の地理的条件による交通・物流の制約や、生活サービスへのアクセスの不便さ解消が急務となっています。このような状況下において、デジタル技術は、時間や距離の制約を乗り越え、持続可能な地域社会を構築するための極めて有効な手段となっています。

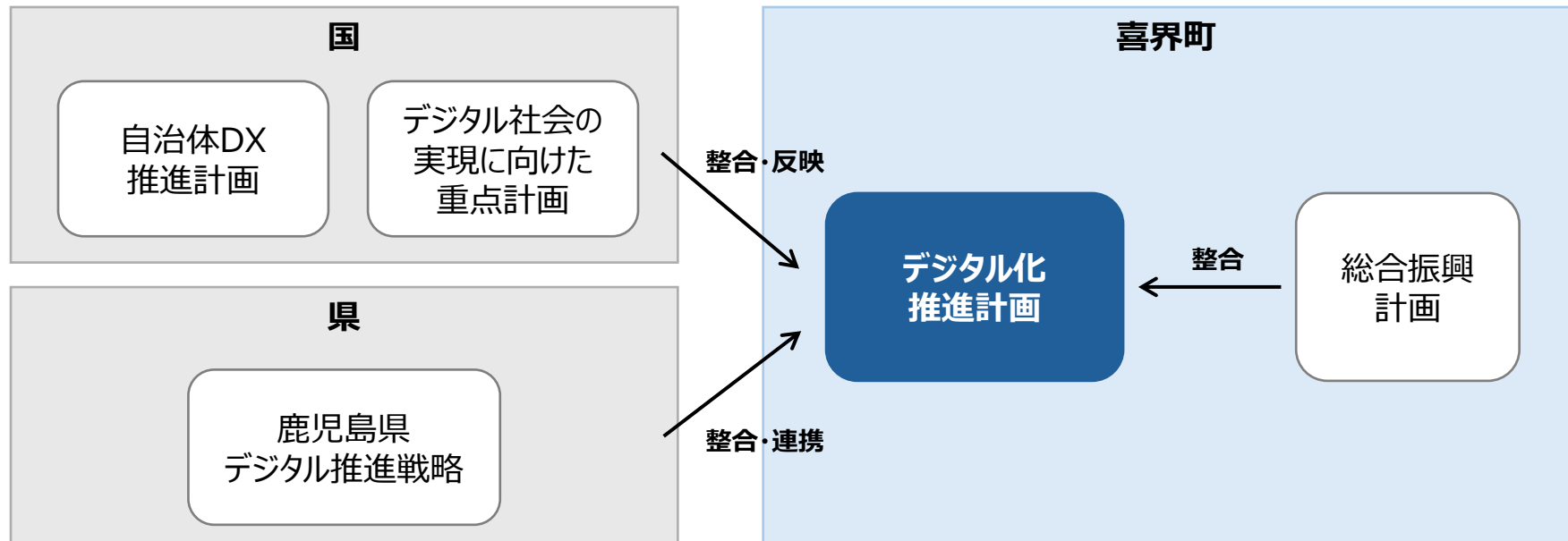
こうした背景のもと、本町ではこれまで「住民サービスのデジタル化推進」「地域社会のデジタル化推進」「行政運営のデジタル化推進」の3つの施策を柱として取り組んでまいりました。行政手続のオンライン化や庁内業務のデジタル化といった「役場内部」のDXは一定の成果を上げた一方、住民一人ひとりがデジタル化の恩恵を実感できる環境づくり、すなわち「地域・住民側」のデジタル化は、引き続き取り組むべき重要な課題として残っています。こうしたこれまでの振り返りを踏まえ、本計画では住民と役場をつなぐデジタル基盤のさらなる充実・強化に取り組んでまいります。

これらを踏まえ、本町では「喜界町デジタル化推進計画」を改定いたしました。本計画は、デジタル技術を最大限に活用することで、上位計画である「第6次喜界町総合振興計画」が掲げる将来像「子や孫の世代が住んでよかったと思える元気な島」の実現を強力に推進するものです。

1-2. 計画の役割と位置づけ



本計画は、総務省が示す「自治体DX推進計画」などを踏まえ、「第6次喜界町総合振興計画」が掲げる将来像「子や孫の世代が住んでよかったと思える元気な島」を実現するため、本町が取り組むDXについての基本的な考え方や方向性を示すものとして位置付けます。



1-3. 計画の期間



本計画は令和8年度から令和12年度までの5年間を対象とします。

なお、この計画に基づく施策の取組成果、社会情勢や国県の施策等を踏まえ、必要に応じて、見直しを図ります。

計画		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
国	自治体DX 推進計画	随時改定										
	デジタル社会の実現に 向けた重点計画			随時改定								
県	鹿児島県 デジタル推進戦略			令和4年版（10年計画）								
町	総合振興 計画	第5次 （後期）		第6次					第6次（後期）			
	デジタル化 推進計画				喜界町デジタル化推進計画 令和5年度～令和7年度			喜界町デジタル化推進計画 令和8年度～令和12年度				

02

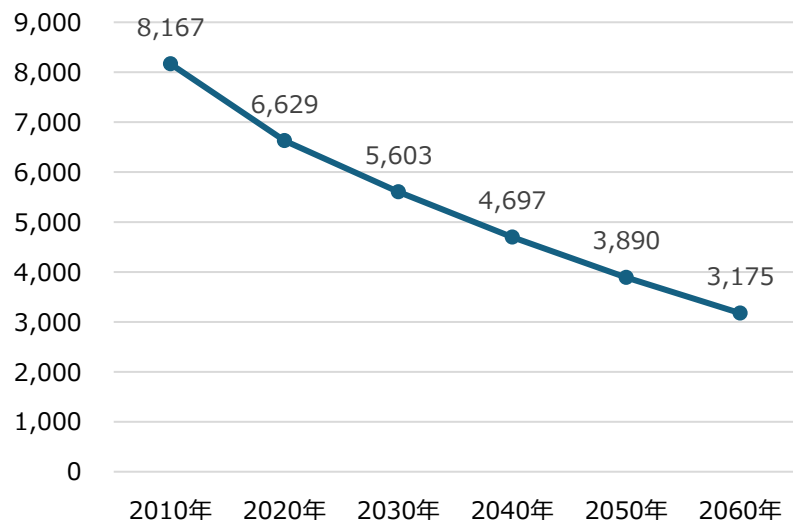
喜界町を取り巻くデジタル化の状況

- 1. 喜界町の状況
- 2. 社会的な動向

2-1. 喜界町の状況



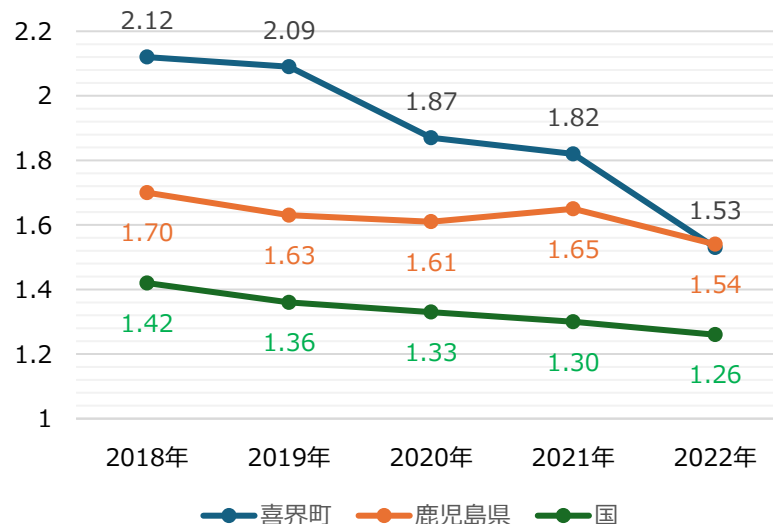
人口の推移と将来推計



資料
「国勢調査」(総務省)「地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)

人口は年々減少傾向にあり、2020年(令和2年)には6,629人となっています。国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計によると、今後本町の人口は減少していき、2060年(令和42年)には現在の人口の半数以下の3,175人になると予測されています。

合計特殊出生率の推移



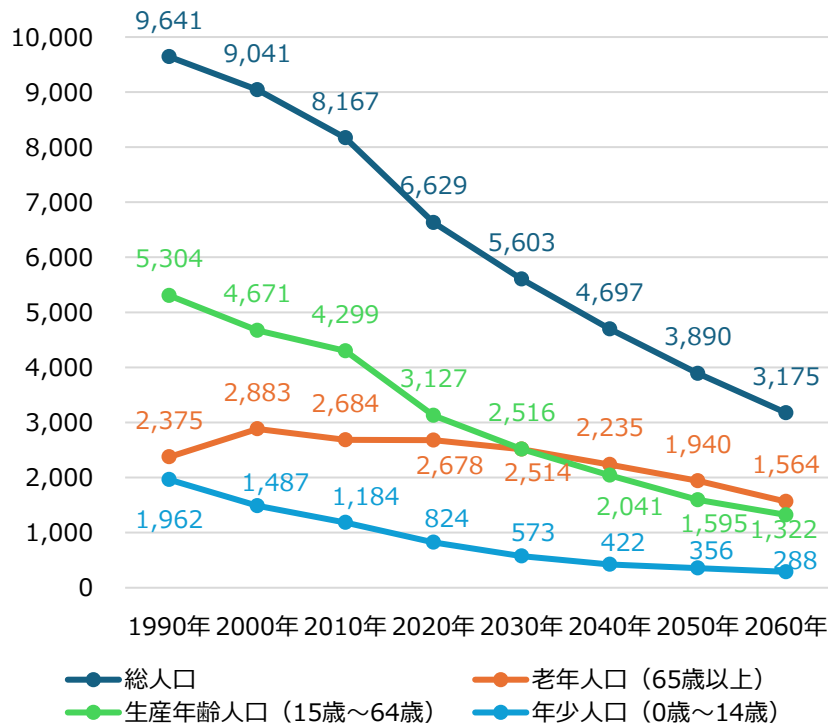
資料
「国勢調査」(総務省)「人口動態統計」(厚生労働省)

合計特殊出生率は、かつては2018年(平成30年)に2.12と全国・県平均を上回る水準を維持していましたが、その後急速に低下し、2022年(令和4年)には1.53と県平均(1.54)をも下回る水準にまで落ち込んでいます。

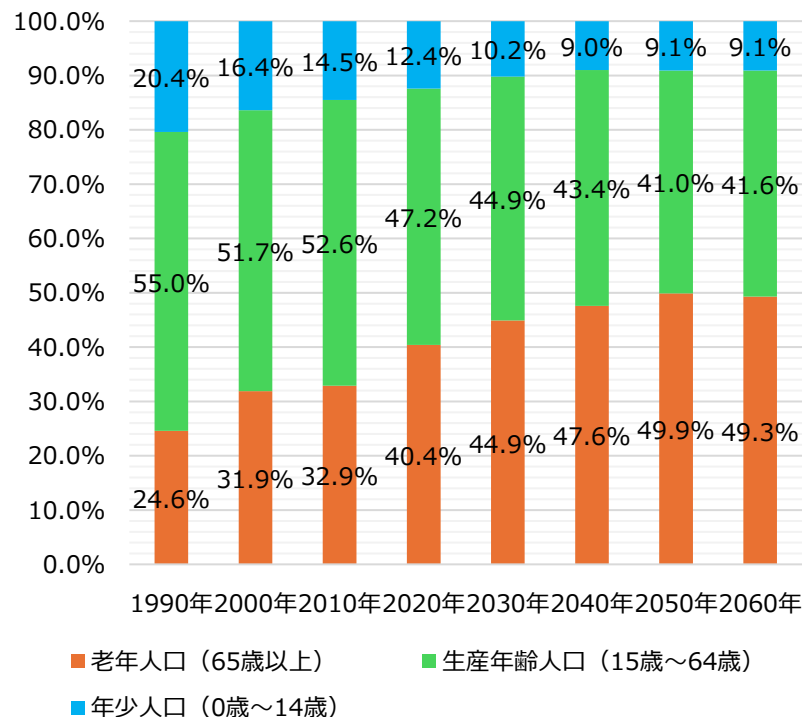
2-1. 喜界町の状況



年齢3区分別人口の推移



年齢3区分別人口割合の推移



資料

「国勢調査」(総務省)「地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)

1990年(平成2年)以降の年齢3区分別の人口をみると、年少人口(0歳～14歳)は1990年(平成2年)の1,962人、生産年齢人口(15歳～64歳)は5,304人をピークに減少傾向となっています。

また、2040年(令和22年)には総人口の約5割が老年人口となることが見込まれ、今後ますます高齢化が進むと予測されます。

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町デジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

2-2. 社会的な動向



2026年7月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」では、引き続き社会全体のデジタル改革の推進が掲げられ、AIの徹底活用やマイナンバーカードの普及と利用拡大、医療・教育・防災分野のDXなど、暮らしに直結する施策が本格的に動き出しています。

一方、デジタル人材の不足や高齢者・障がいのある方を含む「誰一人取り残さない」環境整備、さらにはサイバー攻撃や偽情報への対応が急務となっており、社会全体での取り組みが求められています。

国・県の動向

- 国は「デジタル社会の実現に向けた重点計画」において「一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を、「自治体DX推進計画」では住民サービスの利便性向上と行政運営の効率化・高度化による持続可能な行政サービス提供体制の構築を目指としています。
- 鹿児島県は「鹿児島県デジタル推進戦略」において、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現を目指としています。

社会の課題・変化

- 少子高齢化の進行や急激な人口減少、AI・デジタル技術の急速な進展など、社会は大きな転換期を迎えています。こうした変化に対応するため、行政には従来の画一的・対面型のサービス提供から脱却し、デジタルを最大限に活用した効率的かつ個別最適な行政運営への転換が求められています。また、多様な働き方を尊重しつつ、縦割りを打破した柔軟な組織体制を構築することで、限られた人材・財源のなかでも質の高い公共サービスを維持させていくことが不可欠です。

03

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

- 1.基本理念
- 2.基本方針

3-1. 基本理念



基本理念

喜界町は、「デジタルで結ぶ、支える、育てる喜界町の未来」を基本理念とし、その実現に向けてデジタル活用を柱とした取組を推進します。

デジタルで結ぶ、支える、育てる喜界町の未来

本町は、本土から約380kmという離島特有の地理的制約や、少子高齢化・人口減少による担い手不足など、複合的な課題を抱えています。こうした「距離」と「人」の課題を乗り越える手段として、デジタル技術の活用を町全体で推進するため、「デジタルで結ぶ、支える、育てる喜界町の未来」を基本理念として決めました。

結ぶ

島外との距離や地域内の分断をデジタルでつなぎ、住民・行政・企業・関係人口の連携を深める

支える

高齢者や子育て世代など、生活サービスへのアクセスに不便を抱えるすべての住民の暮らしをデジタルで下支えし、誰一人取り残さない行政サービスを実現する

育てる

デジタル技術を活用できる人材や産業を島内で育み、持続可能な地域社会の礎を築く

3-2. 基本方針



基本方針

基本理念の実現に向けて、「行政DX」、「手続・窓口のDX」、「暮らしのDX」、「地域産業のDX」の4つを基本方針に掲げます。

行政DX

デジタルでつなぐ、喜びあふれる元気な役場へ

デジタル技術を活用した情報基盤の整備と情報管理の一元化により、業務の効率化を図ります。また、迅速な情報共有による組織全体の意思決定力を高めるとともに、デジタルを使いこなす人材を育成・活用することで、職員一人ひとりが住民と向き合う元気な役場の実現を目指します。

手続・窓口のDX

手続がもっと身近に、デジタルで支えるやさしい窓口へ

デジタル申請やオンライン手続の拡充、キャッシュレス決済の導入、マイナンバーカードの有効活用により、住民が「いつでも・どこでも・簡単に」手続できる環境を整えます。役場に足を運ぶ負担を減らし、誰もが使いやすく、寄り添いのあるやさしい窓口サービスの実現を目指します。

暮らしのDX

つながる喜界、広がる未来、デジタルで豊かな毎日へ

福祉・教育・防災・交通など、暮らしに身近な分野へデジタル技術を取り入れ、島で生活するすべての人が安心・便利に暮らせる環境を整えます。また、積極的な情報発信とデジタルデバйд対策により、年齢や状況を問わず誰もがデジタルの恩恵を受けられる、豊かで活力ある喜界町を目指します。

地域産業のDX

地域の魅力をデジタルで進化、キラリと輝く島へ

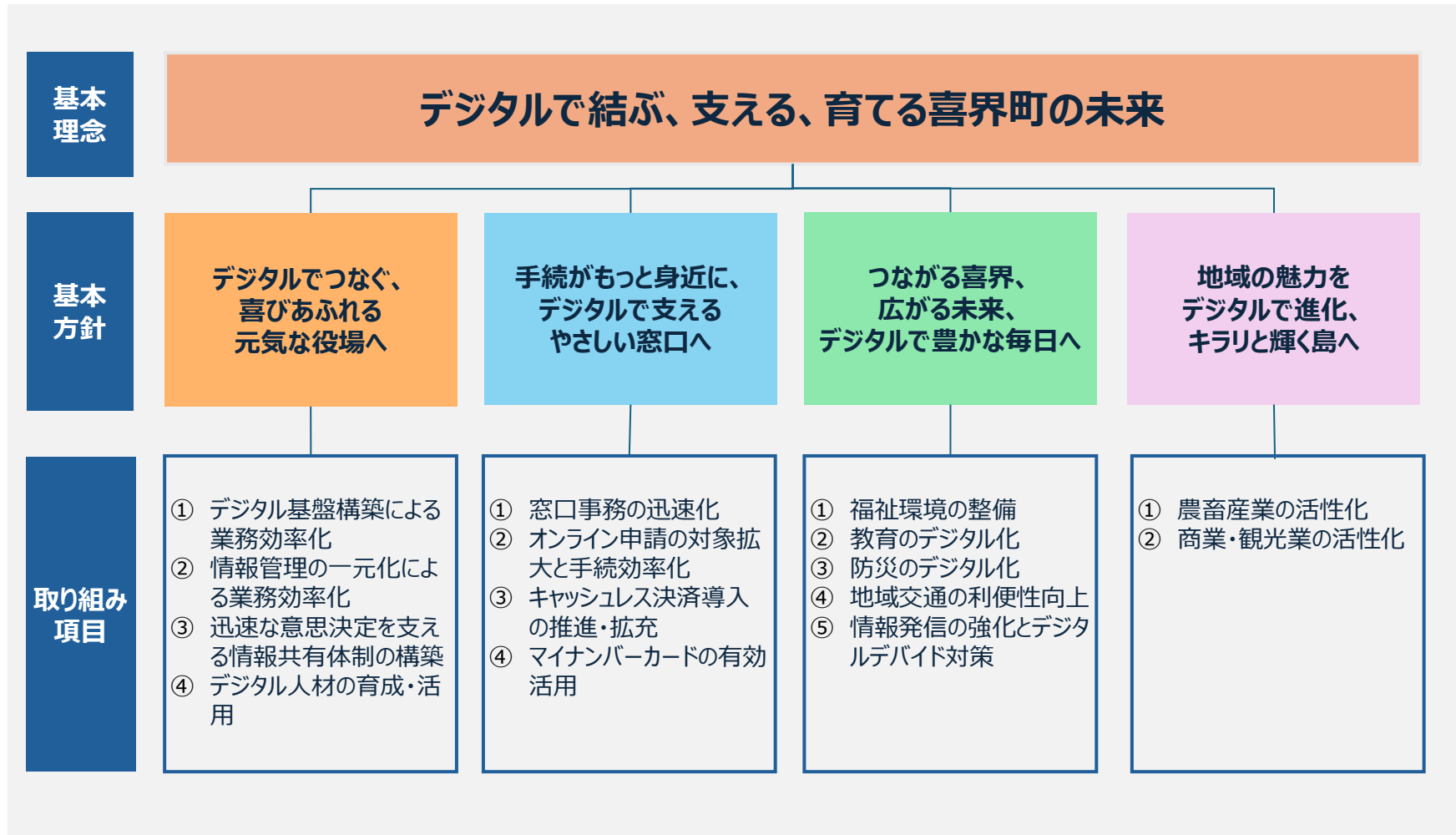
農業分野でのデジタル化を推進し生産性と品質の向上を図るとともに、デジタル技術を活用した情報発信で喜界島の豊かな自然や文化、特産品の魅力を国内外へ広く届けます。地域に根ざした産業をデジタルの力で進化させ、島の活力と持続的な発展につなげることを目指します。

04

施策の詳細

- 1. 施策体系
- 2. 個別の施策

4-1. 施策の体系



喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

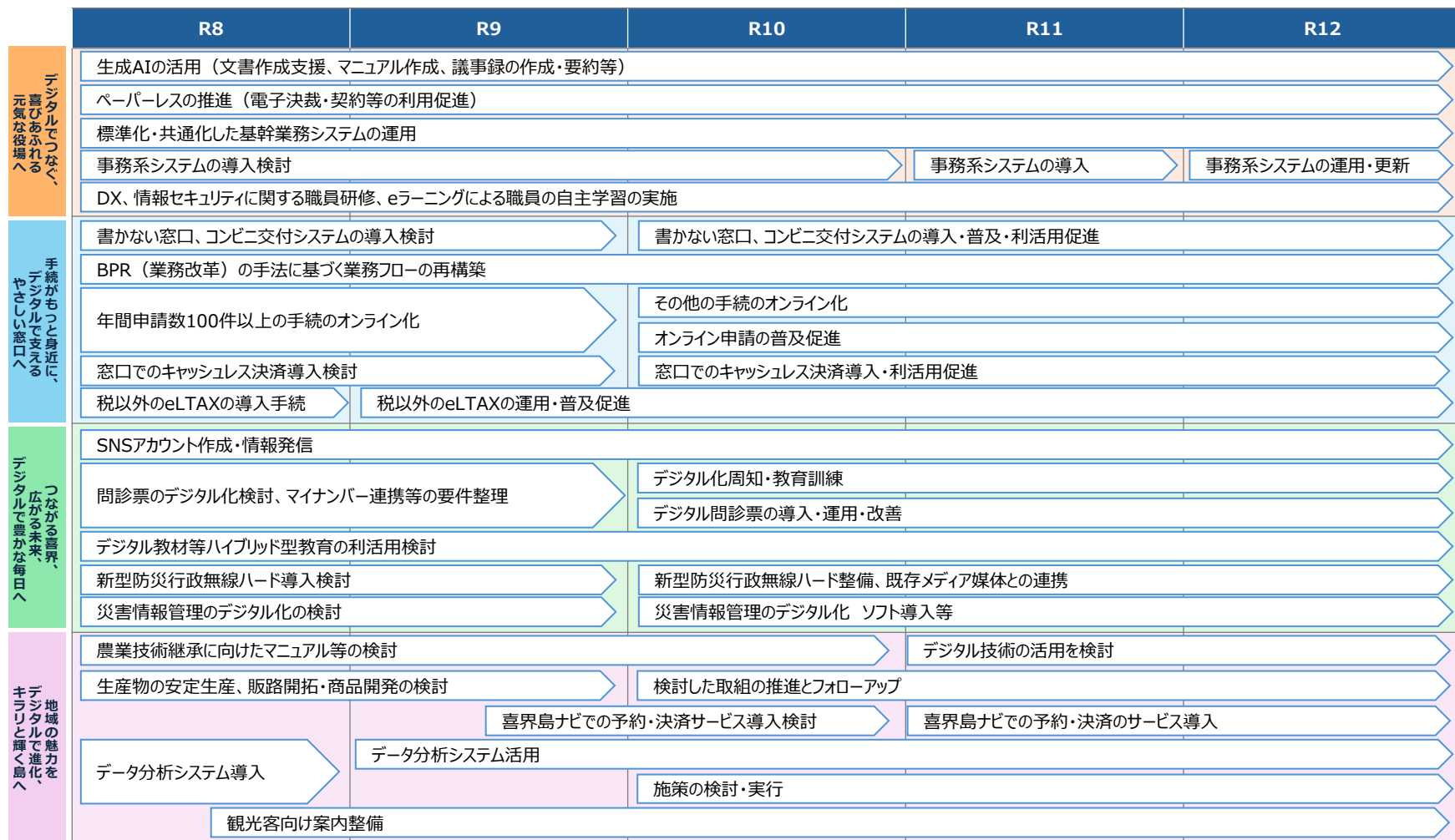
推進体制

付録

4-1. 施策の体系



主要な取組のロードマップ



喜界町デジタル化
推進計画について

喜界町を取り巻く
デジタル化の状況

喜界町デジタル化
推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



1. 行政DX「デジタルでつなぐ、喜びあふれる元気な役場へ」

① デジタル基盤構築による業務効率化

担当課 総務課

現状・課題

- マニユアル不足やスキル属人化により、業務品質が平準化できていない。
- 一部の紙管理が業務効率の低下を招いている。

目標

- デジタルを前提とした業務遂行の仕組みへ抜本的に転換する。

取組内容

- 生成AIの活用（広報・告知文作成支援、マニユアル作成、申請書チェック、議事録作成及び要約等）
- マニユアル化の推進（全課における定型業務のシステム化、窓口対応及び業務引継ぎマニユアルの作成）
- ペーパーレスの推進（庁内業務（契約書・請求書）のデジタル化）
- 文書管理の効率化（文書管理システムの導入）
- アナログ規制の見直し（各種規制の撤廃・見直し）

スケジュール

目指す成果（KPI）

異動による引継ぎ減少 & 業務品質向上、
コピー用紙20%削減、時間外勤務時間5%削減

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I	生成AIの活用（文書作成支援、マニュアル作成、議事録の作成・要約等）				
II	定型業務の現状把握、 マニュアル化対象業務の検討		定型業務のマニュアル化		
III	ペーパーレスの推進（電子決裁・契約等の利用促進）				
IV	文書管理システムの導入検討		文書管理システムの導入・運用		
V	アナログ規制の見直し対象業務の検討		アナログ規制の見直しによる業務効率化		

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



1. 行政DX「デジタルでつなぐ、喜びあふれる元気な役場へ」

②情報管理の一元化による業務効率化

担当課 総務課

現状・課題

- ・ 情報が集約されておらず、非効率が生じている。
- ・ 住民側からは情報量が多く充実している反面、目的の情報へたどり着きにくい場合がある。

目標

- ・ 情報の分散による非効率を解消するため、情報管理の一元化による業務最適化を図る。

取組内容

- 基幹業務システムの最適化（標準化・共通化された基幹業務システムの安全かつ効率的な運用体制の構築）
- ホームページの利便性向上（住民が知りたい情報へ容易に到達できるホームページの改修と更新）

スケジュール

目指す成果（KPI）

HPアクセス数5%増加

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I	標準化・共通化した基幹業務システムの運用				
II	HPの情報整理・階層の見直し		刷新方針の検討		定期更新

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



1. 行政DX「デジタルでつなぐ、喜びあふれる元気な役場へ」

③迅速な意思決定を支える情報共有体制の構築

担当課 総務課

現状・課題

- 情報が共有されておらず、非効率が生じている。

目標

- 迅速な意思決定が可能な体制を構築する。
- 組織内の知識蓄積と共有を促進する。
- 重複作業を削減し、業務の効率化を図る。

取組内容

- 標準化・共通化された基幹業務システムを活用した内部事務系システムの導入・更新
- 文書及びデータの保存・管理期間のルール化

スケジュール

目指す成果（KPI）

保存ファイル20%削減（文書管理システム導入後）

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I	事務系システムの導入検討			事務系システムの導入	事務系システムの運用・更新
II	文書管理システム導入検討		文書管理システム導入・運用		
	文書保存期間ルールの再検討		文書保存期間ルールの運用		

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



1. 行政DX「デジタルでつなぐ、喜びあふれる元気な役場へ」

④デジタル人材の育成・活用

担当課 総務課

現状・課題

- システム利活用、DX知識、スキル、セキュリティ等の知見が不足している。

目標

- 業務改善と適応力向上を目指し、デジタル人材の育成と活用を推進する。

取組内容

- デジタル技術に関する職員への情報周知
- 役職・職務別に応じた適材適所の研修実施
- 全職員対象の情報セキュリティ研修の義務化
- デジタル分野における職員育成体制の構築（庁内外研修及びeラーニングの実施）

スケジュール

目指す成果（KPI）

DX研修年3回実施＆参加人数40名、
情報セキュリティ研修100%受講、eラーニング受講職員数40名

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I, II	DXに関する職員研修の実施				
III	情報セキュリティに関する職員研修の実施				
IV	eラーニングによる職員の自主学習の実施				

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



2. 手続・窓口のDX 「手続がもっと身近に、デジタルで支えるやさしい窓口へ」

① 窓口事務の迅速化

担当課 総務課、住民課

現状・課題

- 窓口業務の非効率さが待ち時間の発生や住民対応の遅延を招いている。

目標

- 窓口業務効率化で待ち時間を短縮し、迅速かつ円滑な住民サービスを実現する。

取組内容

- 「書かない窓口」及びコンビニ交付システムの導入
- BPR手法に基づく業務フローの再構築
- 申請データの利活用
- 窓口個別ブース設置による相談スペースの創出と環境改善

スケジュール

目指す成果（KPI）

基本情報の記載が必要な窓口手続数11件削減

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
Ⅰ	書かない窓口システムの導入検討		書かない窓口システムの導入・普及・利活用促進		
	コンビニ交付システムの導入検討		コンビニ交付システムの導入・普及・利活用促進		
Ⅱ,Ⅲ	BPR（業務改革）の手法に基づく業務フローの再構築				
Ⅳ	個別対応ブースの導入検討		個別対応ブースの導入・利用促進		

推進計画について

喜界町デジタル化の状況

推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



2. 手続・窓口のDX 「手続がもっと身近に、デジタルで支えるやさしい窓口へ」

②オンライン申請の対象拡大と手続効率化

担当課 全課

現状・課題

- オンライン化は一部にとどまり、依然として紙による申請が大半を占めている。

目標

- 申請のデジタル化により、書類の提出・処理が迅速化する。
- 既存の電子申請システムを活用し、オンライン手続の対象を拡大する。

取組内容

- オンライン完結型手続の拡大による住民の申請負担軽減
- オンライン化が可能な手続の優先順位付けと費用対効果の最大化
- オンライン申請データの利活用による事務処理の効率化

スケジュール

目指す成果（KPI）

オンライン申請可能手続数50件、オンライン申請件数年間1,000件

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I, II, III	年間申請数100件以上の手続のオンライン化		その他の手続のオンライン化		
			オンライン申請の普及促進		

推進計画に
デジタル化
について

喜界町デ
ジタル化の
状況

喜界町デ
ジタル化
の基本理
念

施策の
詳細

推進
体制

付
録

4-2. 個別の施策



2. 手続・窓口のDX 「手続がもっと身近に、デジタルで支えるやさしい窓口へ」

③キャッシュレス決済導入の推進・拡充

担当課 総務課、住民課

現状・課題

- 現金決済が主であり、町民にとっての利便性や支払いの手軽さに改善の余地がある。

目標

- スマートフォンや各種カードに対応したキャッシュレス決済を導入し、町民の利便性を向上させる。

取組内容

- 窓口におけるスマートフォン及びクレジットカード決済の導入
- オンライン申請における決済対応手続の拡充
- 税目以外の公金支払へのeLTAX導入

スケジュール

目指す成果（KPI）

住民課窓口でのキャッシュレス決済取扱率30%

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I	窓口でのキャッシュレス決済導入検討		窓口でのキャッシュレス決済導入・利活用促進		
II	オンライン申請での決済取扱手続の拡充				
III	税以外のeLTAXの導入手続	税以外のeLTAXの運用・普及促進			

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



2. 手続・窓口のDX 「手続がもっと身近に、デジタルで支えるやさしい窓口へ」

④マイナンバーカードの有効活用

担当課 住民課、総務課

現状・課題

- ・ 転入手続等で同一情報の複数回記入が必要。
- ・ 手続の重複により、住民の負担や窓口の混雑が発生。

目標

- ・ マイナンバーカードの活用拡大と各種申請の電子化を進める。
- ・ 電子申請環境の整備により、住民の利便性を向上させる。

取組内容

- 広報や通知によるマイナンバーカードの申請・交付促進
- マイナンバーカードの活用場面拡大及び利用率向上のための周知広報

スケジュール

目指す成果（KPI）

マイナンバーカード所持率100%

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I, II	マイナンバーカードの周知広報				
	群島内で連携しつつ、離島割引カードについて県と協議				

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



3. 暮らしのDX「つながる喜界、広がる未来、デジタルで豊かな毎日へ」

①福祉環境の整備

担当課 保健福祉課

現状・課題

- ・ 役場・専門職・住民の連携不足により業務効率が低下している。
- ・ 資格職ゆへの母数不足と、広報不足により専門職員の採用が困難である。
- ・ 問診票の運用は、紙による手続であるため手間がかかっており、確認作業や再発行などの手間や負担が発生している。

目標

- ・ 関係者間の連携促進と情報共有による安心な生活環境を整備する。
- ・ 県や奄美群島との広域連携による情報発信と持続可能な体制を構築し職員を確保する。
- ・ 問診票のデジタル化による職員・住民双方の事務負担を軽減する。

取組内容

- 役場職員・専門職員・住民間での連絡や相談履歴を共有できるアプリの導入（地域資源の可視化を含む）
- SNS等を活用した人材確保に向けた情報発信の強化
- 問診票のデジタル化（マイナンバーカードやアプリへの移行）

スケジュール

目指す成果（KPI）

相談履歴等のデジタル記録数25件、SNSフォロワー数延べ400人、デジタル問診票利用数130件

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
Ⅰ	関係者間で使用できるアプリ・ツールの導入検討		アプリ・ツールの導入	運用ルール標準化	
				試験運用・教育訓練	
Ⅱ	SNSアカウント作成・情報発信				
Ⅲ	問診票のデジタル化検討 マイナンバー連携等の要件整理		デジタル化周知・教育訓練		
			デジタル問診票の導入・運用・改善		

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



3. 暮らしのDX「つながる喜界、広がる未来、デジタルで豊かな毎日へ」

②教育のデジタル化

担当課 教育委員会総務課

現状・課題

- デジタル教材の活用範囲が限定的であり、効果検証も不十分である。
- 学校と家庭の連絡手段が教員の裁量に委ねられ、連絡アプリの利用と紙媒体が混在している。
- 教育支援センターの学習内容と学校教育に隔たりがあり、不登校生徒の学習の支援に課題がある。

目標

- デジタル教材の効果検証を実施し、活用範囲を計画的に拡大する。
- 学校と家庭間の連絡アプリの運用ルールを整備し、学校全体の情報伝達を効率化する。
- 不登校生徒に対する教育内容の見直しを行い、学校と連携した切れ目のない支援体制を整える。

取組内容

- デジタル教材の導入検討及び利活用促進（未導入の学校・科目対象）
- 県統一校務支援システムと連携したプラットフォームの構築・導入による、教育委員会・学校・保護者間の連携強化
- 教育支援センターとの連携による、学校と同等の教育環境の整備

スケジュール

目指す成果（KPI）

タブレット端末の利用授業率70%、コピー枚数の40%削減、
教育支援センターのデジタル教育環境整備50%（Wi-Fi整備、AIドリル利活用）

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I	デジタル教材等ハイブリッド型教育の利活用検討				
II	町教委・学校・保護者間プラットフォーム検討		町教委・学校・保護者間プラットフォーム導入・利用促進		
III	教育支援センターの学習活動に係るデジタル利活用検討		教育支援センターの学習活動に係るデジタル利活用の推進		

推進計画に
デジタル化

喜界町を取り巻く
デジタル化の状況

喜界町デジタル化
推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



3. 暮らしのDX「つながる喜界、広がる未来、デジタルで豊かな毎日へ」

③防災のデジタル化

担当課 総務課

現状・課題

- ・ 防災無線やLINEでの情報発信において、文書の作成・確認・承認プロセスが必要である。
- ・ 職員による読み上げ作業が発生しており、迅速な情報伝達が困難である。

目標

- ・ 状況把握や緊急対応のプロセスを効率化する。
- ・ 緊急時の対応力及び情報伝達の迅速化を図る。

取組内容

- 防災行政無線のデジタル化（広域伝達が可能な防災行政無線への移行。LINE、メール等を含めた複数メディアへの一斉通知機能）
- 災害情報管理のデジタル化（避難所運営、被害状況把握、警報発令のデータ管理）
- 災害時のネットワーク冗長化及び強靱化（衛星系回線の導入による通信手段の確保）

スケジュール

目指す成果（KPI）

戸別受信機配布数1,000台未満への削減、災害時ネットワーク整備拠点数3拠点（衛星系含む）、防災メール+LINE+新たな情報発信媒体の導入数の合計延べ5,000件

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I	新型防災行政無線ハード導入検討		新型防災行政無線ハード整備		
			新型防災行政無線と既存メディア媒体との連携（LINE、メール、ホームページ等）		
II	災害情報管理のデジタル化の検討		災害情報管理のデジタル化 ソフト導入等		
III	ネットワークの冗長化・強靱化の検討		災害時ネットワーク冗長化・強靱化導入等		

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



3. 暮らしのDX「つながる喜界、広がる未来、デジタルで豊かな毎日へ」

④地域交通の利便性向上

担当課 企画観光課

現状・課題

- 路線バスの維持・管理が困難であり、将来的な公共交通の確保が課題となっている。

目標

- スクールバスとの役割分担を明確化する。
- 公共交通サービスの維持と住民の利便性向上を図る。

取組内容

- 新たな運行事業者との連携体制の構築
- 路線バスとスクールバスの役割整理及び地域実情に応じた交通ネットワークの構築
- 利用実態や住民ニーズの把握に基づく、利便性の高い運行ダイヤ・ルートへの見直し
- 関係機関及び交通事業者との協議体制の強化
- 運行情報やデータ活用に向けた基盤づくり（バスの位置情報取得など）

スケジュール

目指す成果（KPI）

路線バスの収支率17.00%

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I, II, III, IV	事業者との連携体制の構築				
V				位置情報システムの導入検討	位置情報システムの導入・運用・改善

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



3. 暮らしのDX「つながる喜界、広がる未来、デジタルで豊かな毎日へ」

⑤情報発信の強化とデジタルデバイド対策

担当課 総務課

現状・課題

- 情報発信の効率化・多様化が必要であり、デジタル活用に不慣れな層への対応が求められている。

目標

- HPやSNSの活用で情報を充実させ、発信を効率化・多様化する。
- 町民向けスマホ講座を開催し、デジタルデバイドを解消する。

取組内容

- 町ホームページやLINE等のデジタルツールを活用した島内外への積極的な情報発信
- 有料版公式LINEの検討及び導入
- デジタルデバイド対策としてのスマホ教室開催及び広報媒体を活用したデジタル関連の情報提供

スケジュール

目指す成果（KPI）

住民向けスマホ教室年2回開催＆参加人数30名、
公式LINE登録者数2,000人

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I , II	有料版公式LINEの導入検討		有料版公式LINEの導入・運用		
III	スマホ教室の組織体制づくり	スマホ教室の実施			

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



4. 地域産業のDX「地域の魅力をデジタルで進化、キラリと輝く島へ」

① 農畜産業の活性化

担当課 農業振興課

現状・課題

- ・ 農畜産物のデータ収集や分析等が不十分である。
- ・ デジタル機器の維持管理費等が高い。
- ・ 農業技術の継承・育成が困難である。
- ・ 生産物の安定供給と持続可能な販路確保ができていない。

目標

- ・ データ収集の自動化や技術の可視化を行い、作業の効率化を図る。
- ・ 活用可能なデジタルツールの推進に向けた支援策の拡充を図る。
- ・ 農業のDX化による技術や技能の保存と活用を推進する。
- ・ 特産品の安定した流通と地域活性化を推進する。

取組内容

- 活用可能なデジタルツールを把握し、既存事業の見直し・支援内容の充実を図る
- 農作物の生育データ収集・分析・活用推進を通じた生産性向上と経営効率化
- 農業技術の可視化・データ化推進による新規就農者の確保及び後継者への技術継承支援
- デジタル技術活用による生産量の向上及び情報発信やPRの推進

スケジュール

目指す成果（KPI）

農業ICT・IoTの導入40件、他分野との事業連携1件、新規販路開拓及び新商品開発2件

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I	既存事業の継続と拡大				
II	関係者間で使用できるツールの導入検討		デモ機等の導入による実現可能性の検証		システム等の導入
III	農業技術継承に向けたマニュアル等の検討			デジタル技術の活用を検討	
IV	生産物の安定生産、販路開拓・商品開発の検討		検討した取組の推進とフォローアップ		

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町を取り巻くデジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

4-2. 個別の施策



4. 地域産業のDX「地域の魅力をデジタルで進化、キラリと輝く島へ」

②商業・観光業の活性化

担当課 企画観光課

現状・課題

- 観光に関する情報発信が不足している。
- 導入済みのオンライン予約システム等の稼働率が低迷している。

目標

- 効果的な情報発信とデータ活用を推進する。
- 観光客の利便性向上を図る。

取組内容

- 観光・宿泊・飲食・交通情報等のデジタル化による情報集約と発信強化
- 奄美群島振興事業を活用したSNS等による誘客及びPRの強化
- 既存サービスとの連携・活用によるオンライン予約・決済環境の整備支援
- 観光動向把握による戦略的施策展開に向けた来訪者データ等の活用・分析
- 運行体系の最適化やデジタル案内整備による観光客の周遊・移動利便性の向上

スケジュール

目指す成果（KPI）

Instagramフォロワー3,000人、公式Webサイト等の閲覧数55万PV

取組内容	R8	R9	R10	R11	R12
I , II	SNS等を活用した誘客・PR強化				
Ⅲ		喜界島ナビでの予約・決済サービス導入検討		喜界島ナビでの予約・決済のサービス導入	
Ⅳ	データ分析システム導入	データ分析システム活用			
			施策の検討・実行		
V	観光客向け案内整備				

喜界町デジタル化推進計画について

喜界町デジタル化の状況

喜界町デジタル化推進計画の基本理念

施策の詳細

推進体制

付録

05

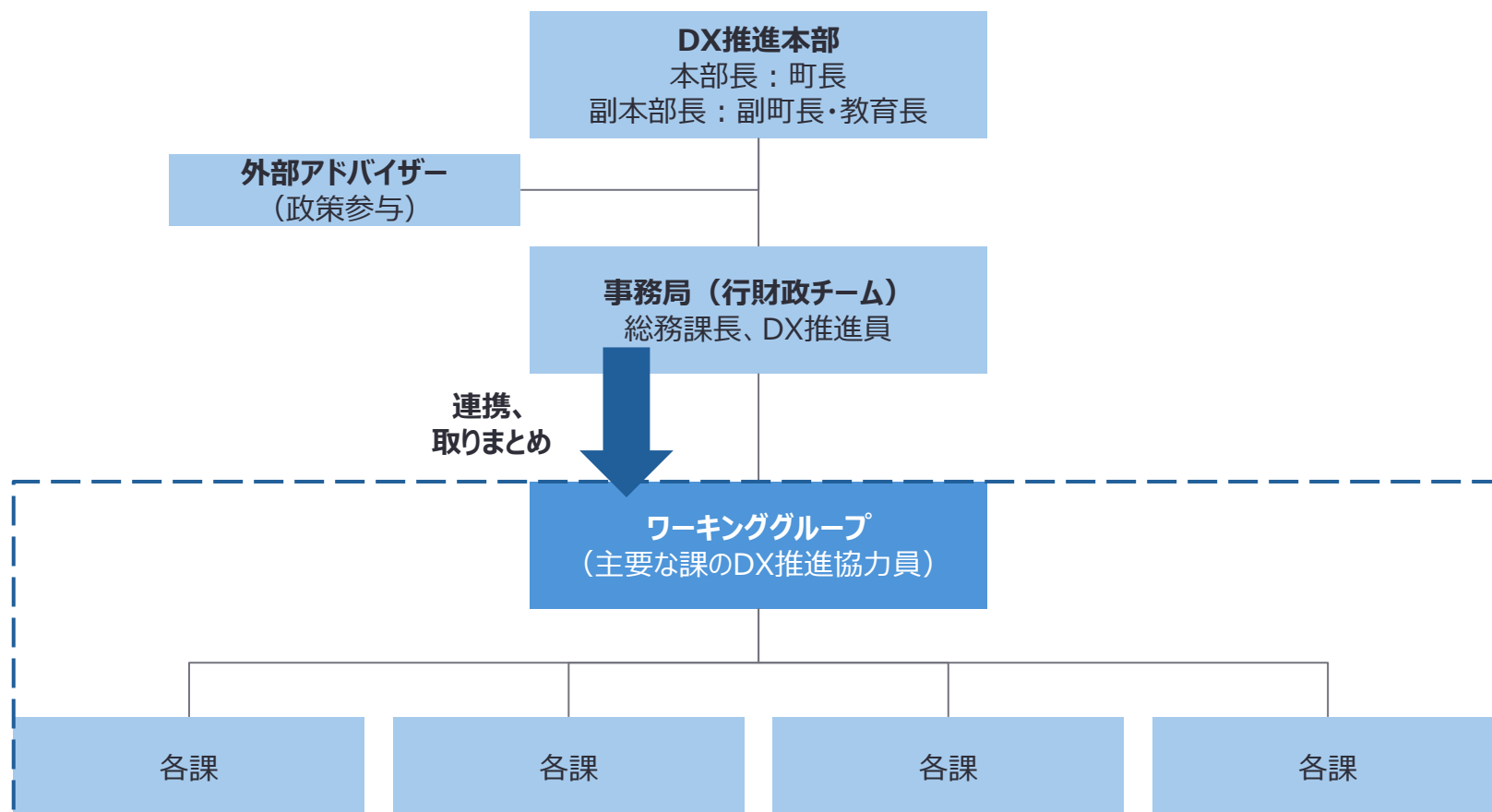
推進体制

1. 取組の推進体制

5-1. 取組の推進体制



デジタル化推進において、全庁的に連携、協力が不可欠であるため、町長をトップとするDX推進本部を設置します。また、各課にDX推進協力員を置き現場の声を取り入れます。



付録

用語集

AI (Artificial Intelligence)

人間が行う学習や判断、文章作成などをコンピュータが行う技術。行政業務の効率化や住民サービスの向上への活用が期待されている。

BPR (Business Process Re-engineering)

既存の業務手順や組織のあり方を見直し、業務全体を最適化する考え方や手法。

DX (Digital Transformation)

デジタル技術を活用して、業務やサービス、組織のあり方を変革し、住民サービスの向上や業務効率化を実現する取組。

eLTAX

地方税共同機構が運営する地方税ポータルシステム。地方税の申告や納付等を電子的に行うことができる。

eラーニング

インターネットを活用して学習する仕組み。職員研修や自己学習などに活用される。

ICT (Information and Communication Technology)

情報通信技術の総称。コンピュータやインターネットなどを活用して情報の収集・共有・活用を行う技術を指す。

IoT (Internet of Things)

様々な機器をインターネットに接続し、情報の収集や遠隔管理を行う仕組み。「モノのインターネット」とも呼ばれる。

KPI (Key Performance Indicator)

重要業績評価指標。目標の達成度合いを測るための指標として活用し、行動指針の明確化や定量評価を行う。

SNS (Social Networking Service)

インターネット上で情報発信やコミュニケーションを行うサービス。LINEやInstagramなどが代表例である。

オンライン申請

役場へ来庁することなく、インターネットを通じて申請や届出を行うことができる仕組み。

書かない窓口

マイナンバーカード等を活用し、申請書への手書き記入を減らすことで住民の負担軽減を図る窓口サービス。

基幹業務システム

住民記録、税、福祉など、自治体の主要な行政事務を処理するシステムの総称。

キャッシュレス決済

現金を使用せず、クレジットカードや電子マネー、スマートフォン決済等により支払いを行う方法。

情報セキュリティ

情報資産を不正アクセスや情報漏えい、改ざん等から保護するための取組や対策。

生成AI

文章作成、要約、翻訳などのコンテンツを自動的に生成するAI技術。業務効率化や住民サービス向上への活用が進んでいる。

デジタルデバйд

年齢や地域、身体的条件等によって、デジタル技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差。

文書管理システム

行政文書を電子的に保存・管理し、検索や共有を効率化するシステム。

マイナンバーカード

個人番号（マイナンバー）を証明するカード。本人確認や行政手続のオンライン化などで活用される。



サトウキビの一本道
喜界島

土地改良の碑

鹿児島県喜界町 総務課
〒891-6202 鹿児島県大島郡喜界町湾1746